

平成 29 年度

「運営に関する計画」



大阪市立塩草立葉小学校
平成 29 年 4 月

大阪市立塩草立葉小学校 平成29年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 本校は、学校教育目標「豊かな心をもち、自ら考え、正しく判断できる子どもを育てる」のもと、人権尊重を基盤とした教育活動を推進している。子どもが健やかに成長し、心豊かに生きるため、学力や体力とともに、基本的な生活習慣、自尊感情などをトータルにはぐくむよう、全教育活動を通して取り組んでいく。
- 平成28年度の全国学力・学習状況調査において、平成26年度の統合後、初めて算数Aの平均正答率が全国平均を上回り、国語Bと算数Bが大阪市平均を上回った。しかし、基礎的基本的な学習内容の定着の兆しがみられるものの、全般的に十分とはいえない。
- 平成28年度の大坂市小学校学力経年調査の質問紙調査で、「学校の授業時間以外に、ふだん1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」の項目について「30分より少ない」「まったくしない」と答える児童の割合をあわせると、16%にのぼった。学習する習慣を身につけることが、今後の課題である。
- 平成28年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査では、大阪市平均を上回った種目数は、8種目中で男子1種目、女子4種目であった。体力向上の取り組みを継続し、運動好きな子どもを育てることが大切である。
- 平成28年度の全国学力・学習状況調査の児童質問紙調査では、「自分には、よいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合は、74%であった。大阪市小学校学力経年調査の質問紙調査の同様の質問項目でも、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合は73%であった。自尊感情のさらなる育成が、課題である。
- 平成28年度の大坂市小学校学力経年調査の質問紙調査で、「朝食は毎日食べますか」の項目では、「食べない日がある」「食べない日が多い」「食べない」と答える児童の割合を合わせると、22%であった。また、「毎日、同じくらいの時刻にねていますか」の項目について、「あまりしていない（まったくしていない）」と答える児童の割合は24%。「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」の項目について、「あまりしていない（まったくしていない）」と答える児童の割合は14%であった。「早寝、早起き、朝ごはん」の規則正しい生活リズムの大切さを家庭・地域に啓発していく必要がある。
- 人権教育の取り組みについて、平成28年度末の保護者アンケートにおける「学校は、学年に応じて、子どもに人権を大切にする意識を育てようとしている」の項目について、「わからない」「当てはまらない」と答える割合は、全体の15%であった。今後、本校の取り組みを積極的に発信するとともに、家庭や地域、関係諸機関の協力をえていきたい。

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- 平成32年度の大坂市小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を平成28年度（73%）より向上させる。
- 平成32年度末の保護者アンケートにおける「学校は、学年に応じて、子どもに人権を大切にする意識を育てようとしている」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える割合を平成28年度（85%）より向上させる。

中期目標（続き）

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 平成32年度の大坂市小学校学力経年調査の質問紙調査で、「学校の授業時間以外に、ふだん1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」の項目について、「30分より少ない」「まったくしない」と答える児童の割合を平成28年度（16%）より減少させる。
- 平成32年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目について、「好き（やや好き）」と答える児童の割合を平成28年度（男子80%、女子75%）より向上させる。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小学校）

- 平成29年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて解消した割合を95%以上にする。
- 平成29年度の大坂市小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を90%以上にする。
- 平成29年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度以下にする。
- 平成29年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度以下にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- 平成29年度の大坂市小学校学力経年調査における標準化得点を、前年度より向上させる。
- 平成29年度の大坂市小学校学力経年調査における正答率54%以下の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント以上減少させる。
- 平成29年度の大坂市小学校学力経年調査における正答率75%以上の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント以上増加させる。
- 平成29年度の大坂市小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。
- 平成29年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である長座体前屈の平均の記録を、前年度より男女とも1ポイント以上、向上させる。

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立塩草立葉小学校 平成29年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった	B：目標どおりに達成した D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
---	--

年度目標	達成状況
【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】	
<p>全市共通目標（小学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成29年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。 ○ 平成29年度の大坂市小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を90%以上にする。 ○ 平成29年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度以下にする。 ○ 平成29年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度以下にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○いじめの未然防止と早期発見、早期対応をすすめる。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年1回以上、「学校いじめ防止基本方針」を改訂する。 ・全学級で、学期に1回以上いじめについて実態調査を行う。 ・全教職員で、月1回以上児童の実態について共通理解する。 ・生活指導支援員、SSW、SC、区役所、こども相談センター等を活用する。 	
<p>取組内容②【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人権尊重の教育を基盤とした教育活動を推進する。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育実施計画（別紙参照）に基づいて、計画的に取り組む。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

大阪市立塩草立葉小学校 平成29年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標(小学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成29年度の大坂市小学校学力経年調査における標準化得点を、前年度より向上させる。 ○ 平成29年度の大坂市小学校学力経年調査における正答率54%以下の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント以上減少させる。 ○ 平成29年度の大坂市小学校学力経年調査における正答率75%以上の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント以上増加させる。 ○ 平成29年度の大坂市小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○すべての子どもに学習習慣を定着させる。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学級で、週1回「朝の学習」を実施する。 ・放課後を活用した学習機会を毎日設ける。（浪速区役所まなび支援事業と連携） 	
<p>取組内容②【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教員の指導力向上をすすめる。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学級で、年1回以上研究授業を行う。 ・すべての教員が、年2回以上校外で行われる研修会に参加する。 	
<p>取組内容③【国際社会において生き抜く力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○英語教育やICTを活用した教育に取り組む。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年2回以上、英語教育やICTを活用した教育に関する校内研修を行う。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立塩草立葉小学校 平成29年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった	B：目標どおりに達成した D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
---	--

年度目標	達成状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標(小学校)</p> <p>○ 平成29年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である長座体前屈の平均の記録を、前年度より男女とも1ポイント以上、向上させる。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>○子どもの体力・運動能力向上のための取り組みをすすめる。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校での体力向上週間を年2回以上実施する。 ・全校での「姿勢体操」を月2回以上実施する。 ・学校外のスポーツクラブ等と連携して、出前授業を年1回以上実施する。 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

平成29（2017）年度 人権教育の取り組み

【1】人権教育推進体制の組織

- 人権教育部（校務分掌）
- 人権教育推進委員会（学校長、教頭、同和教育主担、教務主任、生活指導部長、外国人教育主担、特別支援教育主任、各学年代表者）
 - ・ 人権教育教材集・資料、人権教育読本「にんげん」の実践、授業研究
 - ・ 人権・同和教育の推進
- 浪速人権・同和教育推進協議会（同推協）
 - ・ 専門部会
 - ・ 新転任同和問題研修会

【2】人権教育の内容

- 「集団育成」に関する事項
 - ・ 学年・異学年間の学年での集団育成活動
 - ・ 色別たてわり活動（児童集会・塩草立葉ゲームフェスタ・たてわり絵食・清掃等）
 - ・ 保・幼・小・中との交流活動
 - ※ 幼稚園・保育所との交流（昔遊び 1年生・ふれあい交流 5年生）
 - ※ 難波中学校下2校交流（中学校運動会 6年生・なにわ子ども人権文化祭 6年生・部活体験 6年生 等）
 - ・ 地区子ども会
 - ・ フレンズ・カップ・オブ・ナニワの参加について
 - ※ バレーボール、ソフトボール
 - ※ チーム編成から本番まで15回程度、放課後に練習する。
 - ※ 対象者は、3～6年生の参加希望者
- 「部落問題学習」に関する事項
 - ・ 太鼓正の見学
 - ・ 「塩草立葉のリズム」練習 4年生
 - ・ クラブ活動で実施（和太鼓クラブ）
- 「特別支援教育」に関する事項
 - ・ 難波支援学校との交流
 - ※ なんば祭（学芸会） 5年生
 - ※ 作品展見学 全学年
 - ・ 障がい理解への取り組み
 - ・ 特別支援学級児童の学力保障
 - ・ 特別支援学級以外の配慮を要する児童への支援

- 「外国人教育」「国際理解」「多文化共生」に関する事項
 - ・ となりの国の学習（民族講師を招いての学習） 全学年
 - ・ 多文化理解への取り組み
 - ・ 渡日児童への日本語指導ならびに支援
- 「平和教育」に関する事項
 - ・ 平和・人権登校日（8月4日） 全学年
 - ・ 人権に関する作品制作 全学年
- 「性教育」に関する事項
 - ・ 性教育年間計画に基づいた学習実施
- 「学力保障」の取り組みについて
 - ・ 子どもの実態に応じた複数教員によるきめ細かい指導
 - ・ 1～6年生の「朝学習」
 - ・ 夏季休業中の「学習ルーム」
- その他
 - ・ 人権ポスター ※ 浪速区で人権展開催の場合全学年

【3】人権研修・地域連携

- 人権・同和教育の研究・研修
- 各学級もしくは学年による人権教育実践報告会
- 「子どもの様子」報告 毎月職員会議後
- 特別支援教育全体会
- 外国にルーツをもつ児童の実態把握
- 浪速読み書き教室の講師（毎週金曜日）
- フレンズ・カップ・オブ・ナニワ（10月中ごろ・予備日なし）
- 浪速人権・同和教育推進協議会（同推協）
 - ・ 各専門部会の研修会への参加
 - ・ 新転任同和問題研修会への参加
- 大阪市人権教育研究協議会（市人教）の活動参加
 - ・ 市人教大会・分科会報告（6月21・22日）
 - ・ 市人教夏期研究会（7・8月） 等
- 部落解放・人権教育夏期講座：高野山（8月23日～25日）
- 全国人権・同和教育研究大会への参加（11月）島根県
- 浪速地区人権・同和教育研究集会 一隔年一（2017年度実施）
- なにわ人権教育ネットワーク（人権ネット）の活動参加
 - ・ 講演会「区民のタベ」（8月4日）
- 浪速・西・港・大正人権展（12月）
 - ・ 児童の作品展（図工の作品・標語）人権ポスター見学
 - ・ 人権展見学